

令和6年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立勸興小学校	担当者名	諸岡 麻由子(司書) 大西 章子(図書主任)
住所	佐賀市成章町3-16	電話番号	0952-24-4235

I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	めざせ図書館マスター!!図書館へ行こう!楽しもう図書館!活用しよう図書館!
	取組期間	令和6年4月8日~11月30日

II. 取組後の評価

評価	取組人数	288人	実施日数	158日	読書冊数	24230冊	連携した団体数	53団体
	取組内容 (概要)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館環境を整える <ul style="list-style-type: none"> ・正しい廃棄を行う。 ・学級文庫を各学級へ配置する。 ・高い本棚は上の部分に本を配架しない。 ・別置資料にはシール等で案内する。 ・図書館配置図の配布。 2. 図書の授業の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・国語の教科書に掲載された本や関連本をクラスへ貸出。 ・図書の授業で読み聞かせ。 ・分類番号を覚えてもらう学習。 3. 図書館に親しむための取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードの導入(続) ・図書館クイズ(続) ・新聞の活用の導入(続) ・図書委員会主導の図書館まつり 4. 関係機関との連携した取り組み(続) 5. 教科等の授業と関連した取り組み(続) 6. 夏休みの図書館活用 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み用ポイントカードの導入(続) ・読書感想文の書き方プリント作成(続) ・読書感想文の書き方ワークシート作成(続) 7. 読み聞かせボランティアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・朝読の時間に月に1回、朝読み聞かせを行う。 ・毎月木曜日に1・2年生対象にブックトークや読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなどを行っていただく。 						

工夫したこと

1. 図書館環境を整える

- ・別置資料もなるべく分類番号に近いところに設置し、わかりやすいよう、ラベル近くにシールを貼り出した。
- ・背の高い書架に人気の本を配架されていたが、子どもたちの背では届かないため、本が動かされていなかった。上の部分は本を配架せず、面出しとして活用することにした。
- ・貸出時に現在の貸出冊数を伝えるようにし、子どもたちの意識が高まるように努めた。
- ・100冊貸出達成した児童にはミニ賞状を進呈し、達成する喜びを得られるようにした。また、「どくしょの木」に掲示することで子どもたちの肯定感を得られるようにした。
- ・毎月、学期毎に貸出冊数上位者、また、飛躍して貸出冊数が伸びた児童へミニ賞状としおりやプラス券入れなど月ごとに工夫したプレゼントを贈呈し、図書館の廊下にも掲示した。児童の励みになっている。
- ・毎月、月毎の学級全体・個人の貸出冊数一覧を学級担任に提示した。また、0冊の児童がいた場合は貸出を促すようにした。

2. 図書の授業の取り組み

- ・学習の幅が広がるように、各学年の担任の先生方と連携し、国語の教科書に掲載された関連本をコンテナやブックトラックを使って定期的に貸出を行った。
- ・3年生までは図書の時間を毎週設けてもらい、図書の時間の導入として毎時間、読み聞かせを行った。
- ・分類番号について知らない児童が多かったため、分類番号について学習を行った。わかりやすいよう書架を分類番号順に並べかえた。本を元に戻すときにラベルを見て戻す意識付けを行うため、どこにしまうのか伝えるようにした。

3. 図書館に親しむための取り組み

- ・毎月初めにお誕生日の児童へ「おめでとうカード」と貸出券を贈呈。
 - ・今年度は一昨年より継続してポイントカードの発行をし、図書館に来る楽しみを増やした。1回の貸出につき、1ポイントを押印し、20ポイント毎に貸出券1枚のプレゼント。
 - ・新聞の「松丸君のクイズ」を図書館にファイリングし、正解者には貸出券をプレゼントした。他にも、新聞の切り抜きをファイリングしたり、掲示したりしてテーマによって本と一緒に配置した。毎週、児童たちはクイズに挑戦したり、新聞の切り抜き特集を見たりして楽しみにしている。
 - ・図書委員会主体の図書館まつりと図書館経営
- (ア) 図書委員で意見を出し合い、みんなが楽しめるようなイベントを考え、6月(開催済)・12月の2回、開催。
- (イ) ぬりえコンクール…図書委員がオリジナルのぬりえを作成。事前に用紙を自由に取ることができ、提出は1人1枚とし、提出した児童のぬりえを掲示した。結果は廊下にコピー作品と共に掲示。盛り上がった。

- (ウ) ○×クイズ…図書館や資料に関するクイズを○×方式で記入。図書館の正しい使い方を覚えてもらう意図があった。
- (エ) 3ヒントクイズ…3つのヒントから何の本か題名を導くクイズ。どれだけ本を読んだことがあるかで答えることができるクイズとなっていた。
- (オ) 読書郵便…自分が読んだ本で面白かった本を、他のお友だちへ紹介するハガキを出すイベント。本の題名だけでなく、どんなところが、どのように面白かったかを紹介できるものになっていた。文章力も磨かれるイベントになった。
- (カ) ラッキーブック…図書委員が事前にラッキーブックになる本を選書。普段はなかなか手に取られないような本を多数用意。ラッキーブックとして登録をしたら書架に戻し、借りてもらうのを待つ。図書館まつり中にラッキーブックをたまたま借用した児童に「ラッキーブックです」と伝え、ラッキーブックを借用した児童にプラス券を進呈。どんな本がラッキーブックになっているのかわからないので、予測を楽しみながら普段は借りないような書架にも足を伸ばし借りるきっかけになっていた。
- (キ) じゃんけん大会…図書館まつり中に本を借りたら図書委員とじゃんけんをし、勝ったらプラス券を進呈。図書委員も借用しにきた児童、双方楽しんでいた。
- (ク) ボランティアさんによる朗読劇…初めての取り組みだったが、朝の読書ボランティアに来ていただいている地域の方や保護者さんによる朗読劇（「あらしのよるに」）を図書館まつり中にしていただいた。特別教室はとても広いのだが、聞きに来た児童で入りきれないくらいの満員で、盛り上がった。聞きにきた児童もすぐに朗読劇になっていた本を借りに来て、シリーズの借用につながった。図書委員の司会の元、聞きにきてくれた児童がたくさん感想を述べてくれた。また、日頃のお礼として、メッセージカードを児童から募集していたものを冊子にして、読書ボランティアの方に進呈。とても喜んでいただけた。
- (ケ) くじびき大会…図書館まつりに参加したり本を借りたりするとスタンプラリーカードにスタンプを押してもらい、スタンプを集めた数によってくじ引きできる回数が違うイベント。商品は図書委員体験チケットや、プラス券、図書委員が作成したプラス券入れ等が当たる。図書委員が作成したプラス券入れが人気で、当たった児童はとても嬉しそうだった。

4. 関係機関との連携した取り組み（続）

- ・他校や市立図書館と資源を共有することで、授業等に必要な図書を正確に、かつ確実に用いることで、児童の知識・理解に努めた。

（資源共有システムの利用による本校の図書資料をカバーする役割。）

5. 教科等の授業と関連した取り組み

- ・各教科の関連本や新聞の切り抜き、リーフレットを用意し、コンテナやブックトラックで学級や学年へ貸出を行い、教科に深みをもたせた。

6. 夏休みの図書館活用

- ・普段のポイントカードとは別に夏休み用のポイントカードを作成・配布した。ポイント3個毎にくじ引きができるようにして、夏休みも図書館にくる

		<p>楽しみを作った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに図書館に来た児童の学習支援…自由研究や学習の手助けをレファレンスした。 ・夏休みは普段より利用者が少ないため、図書委員体験として「貸出・返却」を自分たちでやってみる体験イベントを行った。普段できない体験に目を輝かせて喜んでくれた。 ・夏休みに入る前に読書感想文の書き方プリント及び、感想文を簡単に書くことができるようワークシートを作成し配布した。 <p>7. 読み聞かせボランティアとの連携</p> <p>朝の時間、地域ボランティアや保護者による読み聞かせ。</p> <p>月1回の木曜日に1時間(1・2年生対象)各クラス毎に読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター・エプロンシアター等を行ってもらい、子どもたちの楽しみとなっている。</p>
<p>取組んだ感想</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度より勸興小学校に赴任し、図書館に入ってから「見にくい・使にくい・資料を探しにくい」といった印象を持った。そのため、本棚移動・書架配置換え・本棚から溢れた本を書架に収めた。昨年度は産休・育休のためお休みをしていたが、今年度復帰し、継続して子どもたちの読みたい気持ちを引き出し、面白いと読んでくれるようになるようにPOPや面出し・掲示物・アナウンスに重点を置き借用につなげた。 ・県立図書館や市立図書館が近いため、自分たちで借りた資料や購入した資料を学校に持ってきている児童が多くおり、本をじっくりと読むことができる児童が多い。そのため、貸出冊数を重視するのではなく、自分にあった本を探すこと・本と向き合うことに重点をおいた図書館学習を行った。もちろん、初めて図書館に触れる児童もいるため、図書館来る楽しみや本を読む楽しみを知る学習も同時に行った。また、佐賀市立図書館の電子図書館を児童が使っているタブレットから利用できるようアナウンスを行った。 ・分類番号について知らない児童がまだまだ多いため、引き続き、請求記号の説明・ラベルの説明を行い、常に意識を持ってもらうよう声かけを行った結果、1年生でもラベルについて覚え自分たちで本を戻すことができるようになりはじめている。 ・自分たちで考え行動し、図書委員が主体となり休み時間の図書館運営を行っている。図書館まつりも図書委員が主体となり行うことができた。教員が側にいなくても、どう動いたらいいのか、自分たちより下の学年たちに教えたり案内したりすることができていた。 ・様々な取り組みを継続している中、「図書館って楽しい」と言ってくれる児童がたくさん増え、一年生だけでなく高学年が特に利用が増えたことが大きな成果だと感じられた。また、レファレンスを気軽に申し出てくれる児童が増えた。 ・インターネットやスマホが普及する今、読書離れが心配されてるが、図書館や本が面白いと児童たちはたくさん利用してくれる。本が好きであり、読書意欲が高いと感じられた。

これまでの
取組や今後の
取組予定

- ・読書の楽しみだけでなく、図書館へ訪れる楽しみを体感してもらう。
(アナウンスを増やし、訪れたり借りたりするきっかけを増やす。)
- ・図書館の使い方を学校で覚え、公共図書館及び、中学校・高校・大学へ進学した時に図書館を容易に使えるように学習する。
- ・読み聞かせ等を継続することで、ことばの大切さ、ことばの使い方も伝えたい。
- ・読書を通して心身の健康を促進していきたい。

図書館環境を整える



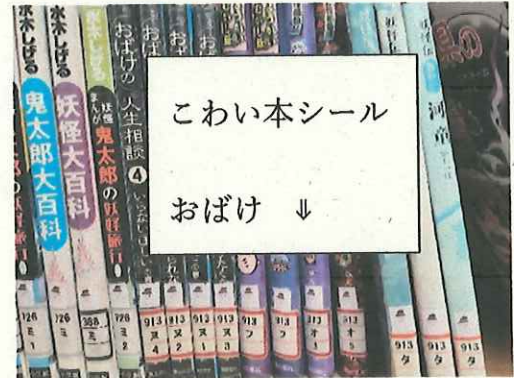
環境の本シール↓

別置資料シール

環境・戦争・怖い本（おぼけの絵）・人権・日本の昔ばなし・世界の昔ばなし・小さい絵本・各学年教科書掲載の本など別置資料にはシールを貼り、本棚にも案内を掲示している。分かりやすくなり、自分たちで間違えずに戻すことができるようになった。



戦争の本シール↓



こわい本シール

おぼけ ↓

季節の本の展示

毎月、季節の本を展示して貸出を促している。普段、書架にあると借りられなくても、ここに展示されることで貸出につながっている。この展示の下にはテーブルを用意し、様々なテーマ・分類の関連本を展示し、貸出につなげている。

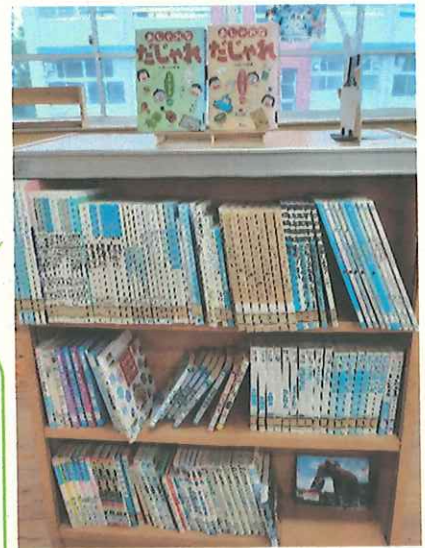


本棚に余裕を

ぎゅうぎゅうに入れられた本棚に余裕を持たせ、展示も無かったので面出しをして貸出を促した。



普段あまり借りられない8類の本。面出し展示をすることで貸出につながっている。



新しい本の展示・テーマ展示

新しい本と共に、毎月テーマを決めて展示している。子どもたちは、まずこの本棚を見ることが多く、いつも空っぽになるほど人気の本棚となっている。

雑誌の切り抜きや時事問題、本に関する特集と共に展示すると貸出意欲が高鳴るようだ。

楽しい気持ちになるようとの願いで展示している。

夏休み前には読書感想文ワークシートと一緒に置いていると手に取る児童が多数いた。



LGBTをテーマにムーミンの本の紹介
(新聞切り抜き・雑誌での紹介を共に添えて)

谷川俊太郎さんをテーマに
先日亡くなられた谷川俊太郎さんの本を朝の読書ボランティアさんに各クラスで読んでいただき、展示。





背の高い書架は配架せず、上を 面出し展示書架として活用

背の高い書架は子どもたちにとって届きにくいもの。また、見にくいので、配架せず、面出し展示書架として活用。興味・関心を持ち、貸出につながっている。

新聞の活用

毎日小学生新聞の展示・切り抜きを展示して時事問題に興味関心をもたせている。



新聞の活用(人気編)

毎日子ども新聞に「もちもち♡ぱんだ」が毎週金曜日に掲載されている。ファイリングすることで読み返すことができ、子どもたちに大人気となっている。



新聞活用(考えよう!編)

毎日子ども新聞には毎週金曜日に松丸君のクイズが掲載されている。切り抜きにして掲示し、誰でも挑戦することができるようにしている。答えがわかったら解答用紙に記入して提出。正解していたら貸出券をプレゼントしており、子どもたちは毎週楽しみにしている。





学習との連携 ・ 図書館の活用

宿題として出される「自学」。上手な人を各学年で毎学期選び、ファイルに綴じ「自学名人ノート集」として図書館に展示。授業だけでなく自学に関してもレファレンスし、学習に利用できる本を紹介している。

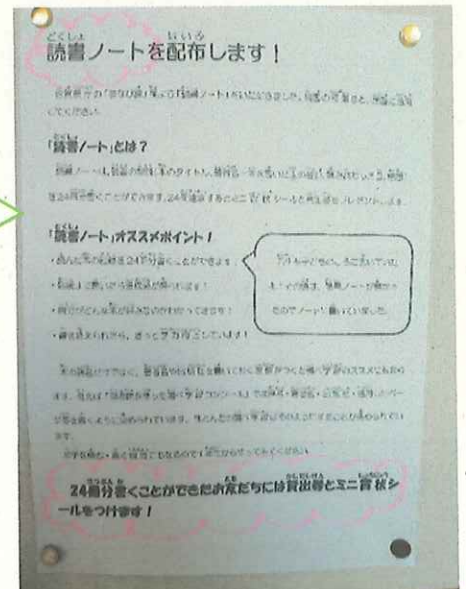


夏休みの学習に使う本

夏休みの自由研究・工作・読書感想文等の本を展示。裏面には過去の読書感想文・読書感想画の課題図書を展示。図書館入口近くに展示し、夏休み前や夏休み中の貸出につなげた。夏休みに図書館に来館した児童のほとんどが、このブックトラックから1冊は借用。保護者の皆様にも好評だった。

読書ノートの活用

佐賀県学び課様より毎年いただいている読書ノートを今年度も活用。読書ノートの説明・おススメポイント・活用方法を記載したプリントを読書ノートと共に配布・図書館にも展示している。取り組む児童も多く、記入が終わったノートは図書館に提出してもらい、すべてのページにコメントを入れるようにしている。卒業時に渡す「読書ファイル」に保管。





七夕

初めての取り組みだったが、学校の竹を図書館に展示。七夕関係の本と共に、七夕飾りと短冊を用意し、参加者を募った。願い事は「図書委員になりたい」「たくさん本を読みたい」「プラス券がほしい」といった図書館に関する願い事が多く見られた。願い事を叶えられそうなものは願い事の手伝いを図書委員が行った。



机で迷路

学習机に新聞の迷路を張り出し掲示。椅子も用意したことで、ゆっくりと迷路を楽しむことができる。紹介できそうな本がある時は一緒に展示している。



図書館まつり

ぬいえ

図書委員オリジナル塗り絵に色を塗ったり、絵を書き足したりオリジナリティあふれる作品が集まった。





コラボ給食

図書館まつり中に、本にちなんだ給食を用意していただいた。給食に出てきた本は借用へつながった。また、他校から同じ本を借用（資源共有を利用）し、借りたいのに貸出中で借りられないという状況にならないようにした。



くじ引き大会

本を借りたり、イベントに参加したりしてスタンプラリーのスタンプを集めてくじに参加。一番人気のイベントで図書委員が作ったプレゼントを進呈。



じゃんけん大会

図書館まつり中に本を借りたら図書委員とじゃんけん。勝ったらプラス券を進呈。プラス券は毎日絵柄が違うため集めたい児童が毎日の借用にきていた。

読み聞かせボランティアさんによる朗読劇

初めての試みで、地域ボランティア・保護者による朗読劇を図書館まつり中に行っていただいた。はじまる前は少なかったが、お話しが始まると児童で満員に。会場では図書委員が司会・案内も行い、聞きに来ていた児童たちもたくさん感想やお礼のことばをボランティアに述べていた。

朗読劇に使用された「あらしのよるに」はすぐにシリーズで借用につながった。図書館に残っていた図書委員も朗読劇の呼び込みをするなど、図書委員自ら考え行動できていたのも良かった。



読書郵便

自分が読んだ本で、面白かった本を他のお友だちへ紹介するハガキを出すイベント。本の題名だけでなく、どんなところが、どのように面白かったか紹介できるか、文章力も磨かれるイベントになった。

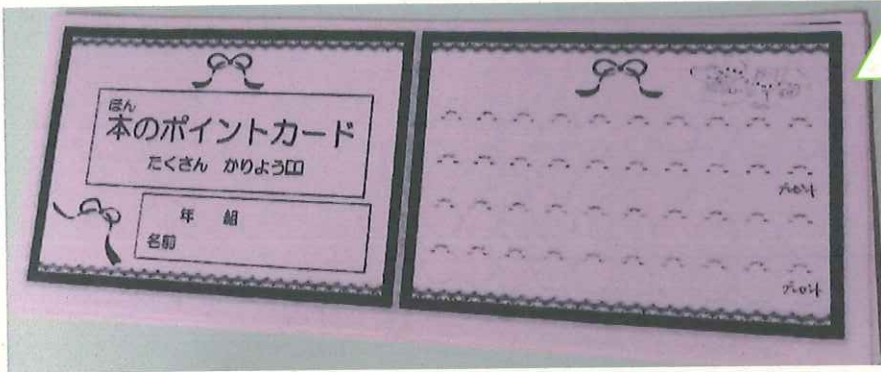
低学年より高学年にお手紙を出したり、高学年が低学年へお手紙を出したり、先生方に書いたり学年を超えた交流にもつながった。

お手紙をもらった児童は実際に借用にきていた。

その他

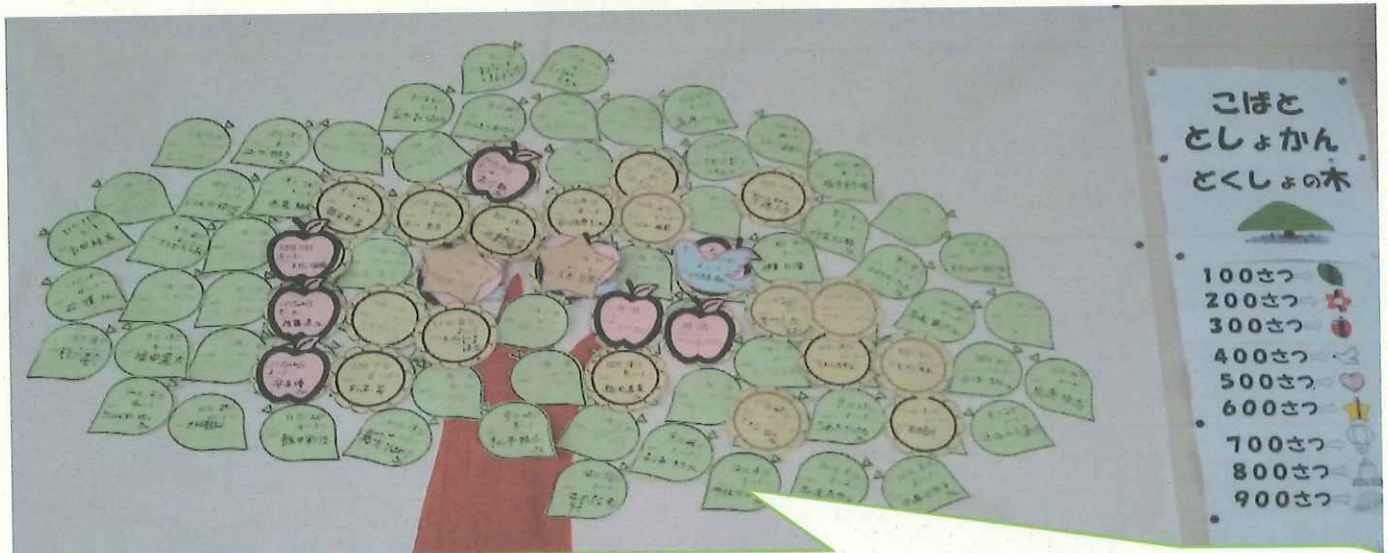
ポイントカード

本を借りにきたら1ポイント
をもらえる。20ポイント毎で貸
出券1枚プレゼント。みんなポ
イントゲットを楽しみに来館し
ている。



プラス貸出券

毎月、ポイントでもらえる
プラス券は絵柄を変えてい
る。今年度は初めての試みと
して、イベント時は形も変え
てプラス券を作成。いろいろ
集めたくなり貸出やイベント
参加につながった。



とくしょの木

100冊・200冊・300冊～に応じて達成した児童を掲示。肯定感や読む喜びにつながっている。
貸出冊数にこだわらず、難しく長い文章に挑戦している児童にも「頑張っているで賞」を贈っている。

100冊達成者…114人・400冊達成者…4人
200冊達成者…24人・500冊達成者…2人
300冊達成者…9人・600冊達成者…1人

多読賞

毎月・学期毎に多読賞だった児童。飛躍的に読書量が増えた児童へ表彰をしている。これを見て肯定感や「頑張ろう」の意欲につながっている。



プラス券入れ

毎月・学期毎に多読賞だった児童がもらえるプラス券入れ。毎月、入れ物が変わるので児童たちも楽しみにしている。クリスマスツリーはシールをセットし自由に貼れるようにした。雪だるまは顔の見本をいくつか用意し、自由に書けるできるようにした。



学期多読賞

学期の多読賞は図書司書作成のプレゼントや図書の本についてくる付録が選べるようにした。プレゼント入れは本の表紙を紙袋にし、児童が喜ぶように工夫した。

木曜日(1・2年生対象)読み聞かせボランティア

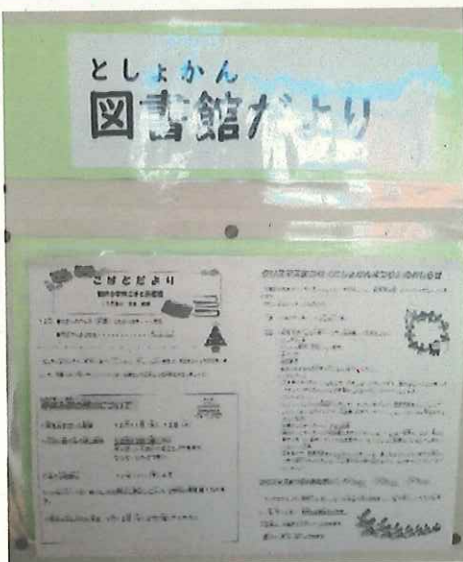
地域ボランティアによる読み聞かせの時間。1時間のなかで、読み聞かせやパネルシアターなど、様々なことをして下さる。楽しくて子どもたちも毎回楽しみにしており、使用された本はすぐに貸出へつながっている。



図書館だより

毎月、暦や英語での表記、季節に関する図書館のお知らせをしている。

子どもたち向けの図書館だよりとして、読みやすさを意識して作成している。



公共図書館からのお知らせ

市立図書館や県立図書館から届いたお知らせを掲示。





キッズマート文庫

昨年度（令和5年度）に現5年生によるキッズマートが開催された。その売上金を今年度に自分たちが図書館に置いてほしい本を購入し、実際に図書館の本として貸出を始めた。

毎年、学習で使う本や投票の多かった本を購入したので、すぐに借用につながった。また、本と共にキッズマートが開催されるまでと開催当日の写真をデコレートし飾ったので、児童の興味・関心を引き出すことができた。保護者にも喜んでいただけた。

夏休みも図書館を楽しもう

夏休みポイントカード

夏休みに本を借りたら1ポイントもらえ、3ポイント毎にくじびきができる。最初は本を読みにきたり勉強しにきたりしていた児童も、本を借りたい意欲につながっていた。

なつやすみ ポイントカード

なにが当たるかな？
くじびきをすると・・・

1〜4のすうじ→もらえる貸出券の数

ま→まほうのチケット

じ→マグネット

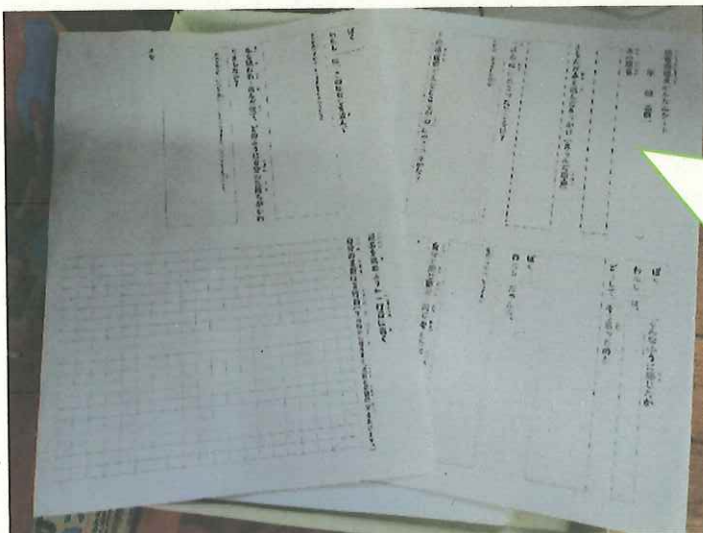


読書感想文ワークシート

読書感想文の書き方を配布し、図書館には課題図書と共にワークシートを設置した。

夏休み前から取り組む児童もいた。

夏休みに図書館で書く児童もいたので、選書・書き方の相談にのった。



今後の取り組み予定・実際に行っているもの

書名	ラベル			読んだことがある
	1 段目	2 段目	3 段目	
怪盗アルセーヌ・ルパン				
ぼくはうそをついた				
あなたの夢におじゃまします				
夢をかなえる未来ノートを読んで				
ミヒヤエル・エンデ				
しょうぶだしょうぶ!				
戦争をやめた人たち				
こころのふしぎ				
ことばハンター 国語辞典はこうつくる				
捨て犬、未来、しあわせの足あと				

読書感想文各クラス一覧表

読書感想文を図書館に提出・保管。そこで、誰が、何を読んだか、ラベルは何か、読んだことが既にあったのか等をワークシートにし、同じクラスの児童へプリントとして配布。題名を見て、友だちがどんな本を読んでいるのか興味深そうだった。また、実際に貸出につながっている。

(上記の表はクラス・氏名を削除して添付)

本の良さを伝えよう 名前 ()

お読みになった本の題名・作者名

著者

題名

読んであげたい人

本を讀むのが好きな人 本を讀むのが苦手な人

読んであげたい人 (プラスワンしようほう)

(例) 夢になんていっている人・野味が好きな人

☆一言感想(シヤル) (四十文字以上五十文字以内)

読んだ理由や心に残った言葉、本のある場所など

本の良さを伝える

「本の良さを伝えよう」をテーマにワークシートを作成。自由にとって図書館前の廊下でもらえるようにする予定。既に4年生以上の図書の授業では開始。3年生以下はこれからルビをふり、利用できるようにする予定だ。上手に紹介できているワークシートは図書館前の掲示板に展示予定。

まとめ

こんな成果ができました！

様々な図書館改革を行い、今年度は3年目の取り組みとなった。登校している児童のほとんどが図書館利用しており、そこから電子図書館の利用・公共図書館の利用とつながっている。

図書館って楽しい！毎日行きたい！と言ってくれる児童も増えたように感じる。貸出冊数1人あたりの平均は前年度や、前々年度と同じくらいだが、資源共有を利用し、自分が好きな本や読みたい本を見つけるのが上達したように実感している。

また、授業を通してブックトークに取り組んだり、ワークシートを使用したりと、本の楽しさを人に伝える文章力の上達、アウトプットが上達したと感じている。

環境に関しては、これからクラスが減り、その代わりに1クラスあたりの人数が増えるだろうと予測し、今年度中に机と椅子を増設予定だ（1月予定）。また、常設本を移動式書架（ブックトラック）に本が入っているところがあったため、新たに書架を設置し、使いやすく安全面も考慮する（1月予定）。その他にも授業でクラス貸出が増えたため、移動式書架（ブックトラック）を増やしいろいろな学年への貸出に対応する予定だ（12月予定）。

小学校は図書館教育のはじまりで重要な位置づけだと考える。これからも、図書館教育をはじめ、レファレンス・アナウンスを大切に子どもがより読書が好きになるよう邁進したい。

